| 学校番号 | T3017 |
|---|---|

# 平成 31 年度　外国語科

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|---|---|---|---|---|
| 外国語 | コミュニケーション英語Ⅱ | 2 | 第２学年 | 教科書（JOYFULⅡ） |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・中学校での既習内容について、わからないところがないか確認しておきましょう。
・疑問を放置せず、質問する姿勢を大事にしましょう。
・地道な努力が実を結びます。焦らず、積極的に参加しましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第２学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

| 話すこと | | 書くこと | | 聞くこと | | 読むこと | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | 科目･評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目･評価 |
| ・前もって準備した上で、決まった表現や形式を用いて自分や他人のことを紹介することができる。<br>・基本的な語や表現を使って、好き嫌いやできることできないことなど日常的な事柄についてやり取りをすることができる。 | コミュ英Ⅱ<br>・発表<br>・ペアワーク<br>・グループワーク | ・簡単な語や基礎的な表現を用いて、バースデーカードなど、メッセージカードを書くことができる。<br>・趣味や好き嫌いについて簡単な語や基礎的な表現を用いて、箇条書きで複数の文を書くことができる。 | コミュ英Ⅱ<br>・ワークシート<br>・定期考査 | ・ゆっくりと発話される、基本的な語句や表現からなる３文程度の英文の内容を的確に聞き取ることができる。<br>・趣味やクラブ活動など身近なトピックについての短い話をゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。 | コミュ英Ⅱ<br>・確認クイズ<br>・英語ゲーム<br>・チェックシート | ・基本的な語句や表現から構成される１～３文程度の英文を文法事項などの知識も活用して内容を的確に読み取り音読することができる。<br>・日常生活で使われる簡単で短い文章(携帯メールや招待状など)を理解することができる。 | コミュ英Ⅱ<br>・定期考査 |

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

| 観点 | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 外国語表現の能力 | 外国語理解の能力 | 言語や文化についての知識理解 |
|---|---|---|---|---|
| 実施方法 | コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。<br><br>・観察<br>・まとめチャート | CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の目標に到達しているか<br><br>・ペアワーク<br>・グループワーク<br>・チェックシート<br>・定期考査 | CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の目標を到達しているか<br><br>・確認クイズ<br>・ゲーム<br>・ワークシート<br>・定期考査 | 英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているか<br><br>・定期考査 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | |

## 4　学習の活動

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 1<br>( 13 時間) | Heaven and Hell<br>中国の昔話 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | 天国とは何か、地獄とは何かを想像する。 | 天国と地獄の食事形態を想像する。 | 天国や地獄に対するイメージを描いたか | まとめチャート<br>観察 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 天国と地獄の違いを説明する。 | 箸の使い方の違いを説明する。 | 天国と地獄の様子について話したか。 | ペアワーク<br>グループワーク |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 天国と地獄の違いを理解する。 | 箸の使い方の違いをわかる。 | 天国と地獄の様子について理解したか。 | 定期考査 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 一般動詞と be 動詞の肯定文を理解する。 | ①一般動詞<br>②ｂｅ動詞 | 一般動詞と be 動詞の肯定文を理解できたか。 | 定期考査 |
| Lesson 2<br>( 13 時間) | On the Way to School<br>「世界の果ての通学路」 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | 様々な通学風景を考える。 | 様々な通学状況を話し合う。 | 学校生活で大切なものが何か考えたか。 | まとめチャート |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 通学時の苦労や楽しさを表現する。 | 自分の通学について伝える。 | 自分のことが相手に伝わっているか。 | グループワーク |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 通学の様子を知る。 | 相手の通学について聞き取り、記録する。 | 相手のことを記録したか。 | ペアワーク |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 一般動詞と be 動詞の疑問文・否定文を理解する。 | ①肯定文<br>②疑問文<br>③否定文 | 一般動詞と be 動詞の文で①肯定文 ②疑問文　③否定文を使えたか。 | 定期考査 |
| Lesson 3<br>( 14 時間) | A Story of Tea<br>村井康彦<br>「茶の文化史」 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | 茶の伝わり方に関心を持つ。 | 様々な茶に興味を持つ。 | どんなときにお茶を飲むかを述べたか。 | グループワーク<br>ビンゴカード |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 知っている茶について説明する。 | 自分の知っている茶について書く。 | 自分が知っていることを書いたか。 | ペアワーク |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 茶の歴史を理解する。 | 茶の歴史について読む。 | 茶の歴史を読み取ったか。 | ワークシート |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 疑問詞のある疑問文を使う。 | ①be 動詞<br>②一般動詞 | 疑問詞を正しく使えるか。 | 定期考査 |
| Lesson 4<br>( 15 時間) | Torch Bearers<br>聖火ランナーについて考える | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | 聖火ランナーへの興味を高める。 | アリが聖歌ランナーに選ばれた理由を考える。 | 自分も聖火ランナーになりたいかを考えたか。 | まとめチャート<br>観察 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 聖火ランナーに関する物語をまとめる。 | それぞれの聖火ランナーを説明する。 | 聖火ランナーたちのエピソードが伝わったか。 | ペアワーク |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 聖火ランナーに関する物語を知る。 | それぞれの聖火ランナーの物語を読む。 | 聖火ランナーたちのエピソードがわかったか。 | グループワーク |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 基本時制や進行形の使い方を理解する。 | ①現在形<br>②過去形<br>③進行形 | 基本時制や進行形を使うことができるか | 定期考査 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 5<br>( 15 時間) | Wonder of the Monarch<br><br>「まだ科学が解けない疑問」 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | 自然界に興味を持つ | 蝶の生態に興味を持つ | 蝶に札をつけたいかを考えたか。 | まとめチャート<br>観察 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 研究者からの呼びかけを表現する。 | 蝶の渡りの調査に参加したいか述べる。 | 自分の住む場所に蝶がいるかどうかを発表したか。 | 定期考査 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 生物学者の発見を理解する。 | 蝶の渡りを理解する | 蝶がどうやって北へ向かうかを理解できたか。 | 定期考査 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 完了時制を理解する | ①現在完了形<br>②過去完了形 | 完了時制の意味を捉えているか。 | 定期考査 |